

平成 20 年度技術士第二次試験合格者祝賀会

高知県技術士会代表幹事 右城 猛

まえがき

平成 21 年 4 月 25 日(土) 牟礼町の四国電力(株) 総合研究所で第 3 回目となる技術士第二次試験合格者祝賀会があり、新合格者 25 名を含む 80 名の参加者があった。

高知からは第一コンサルタンツの片岡寛志氏、構営技術コンサルタントの吉岡恵氏、四電技術コンサルタントの上岡幹志氏と中川洋史氏、高知工業高等専門学校が多賀谷宏三氏の新技术士、それに高知県技術士会を代表として私が参加した。なお、多賀谷先生は既技術士であるが新部門合格者。

記念講演会(14:00 ~ 16:15)

日本技術士会中・四国支部の牧山昭彦支部長より祝辞。続いて徳島県技術士会の加賀晃次会長より「増田淳の橋梁設計手法と設計思想について」と題する記念講演があった。

以前、加賀氏と私は共に四国建設コンサルタントに勤務しており、昭和 59 年に一緒に技術士試験を大阪へ受けに行き合格した間柄である。

今年の 4 月より徳島大学の非常勤講師として「土木史」を講義されている。増田淳に関する研究の第一人者である。

聴講させてもらって、特に印象に残った点を下記に列挙する。

増田淳は高松の出身。東京帝国大学で廣井勇(高知県佐川町出身)に教わった。

アメリカで 30 橋、日本で 80 橋の橋梁設計に携わった。

稲葉健三、陣田稔など優秀なスタッフを抱え、設計計算、製図、数量計算、照査などを分業して効率化を図っていた。

施工中の写真に増田淳がよく写っている。現場で施工の指導も行っていた。

四国内では、勝浦川橋、大松川橋、三好橋、穴吹橋、吉野川橋、那賀川橋、長浜大橋の設計・施工に携わった。

講演の後、中・四国支部企画総務委員長の乗安直人氏より「技術士会活動案内」について、中・四国支部事業委員長の太田一夫氏より「CPD 登録」についての説明があった。

最後に、牧山昭彦支部長より武山正人氏が日本技術士会理事に立候補する旨の紹介があり、武山正人氏から決意表明があった。



牧山昭彦支部長の祝辞



徳島県技術士会の加賀会長による記念講演

祝賀会(16:30 ~ 18:00)

香川県技術士会の武山正人会長による挨拶と乾杯の音頭で立食パーティが始められた。

その後で庭に出て、日本技術士会中・四国支部の役員と新合格者が一緒に記念撮影。

酒がある程度回った時点で、新合格者紹介。70 歳の最高齢者から 29 歳の最年少まで幅が広い。15 年目のチャレンジでやっと合格されたという強者もいれば、29 歳の最年少で一発合格された天才もいた。

15 年目にして合格された田村氏に聞くと「運が良かった」という返事。平成 19 年 8 月に開催された土木学会四国支部香川地域主催のシンポジウム「減災～水環境研究会」で、「香川の地下水のはなし」と題して 90 分の講演をするため、

ネット等で調べていたことが偶然試験に出題されたこと、口頭試験の試験官の一人が、学会を通じてお付き合いしていただいていた先生であったという幸運が重なったそうである。

講師を引き受ければ、誰でも必死に準備をする。最も効果的な勉強法といえよう。田村氏の日頃の努力が功を成したのであり、何もしなければ運は巡ってこない。諦めずに努力を続けていれば、必ず幸運の女神がやってくるのである。



新合格者と技術士会役員で記念撮影



挨拶する新合格者の片岡寛氏



立食パーティでの懇談



上岡幹夫氏

中川洋史氏



29歳の若さで合格した吉岡恵氏の挨拶



締め挨拶と万歳三唱をする近藤英樹理事